

Ⅱ 個人経営体

1 自家漁業の専兼業別経営体数

— 九州の漁業専業経営体の割合は6割で、全国に比べ高くなっている —

- ◆ 漁業専業の経営体の割合は、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎で6割を超えており、全国と比較しても高い割合となっている。〔図15〕
- ◆ 営んだ兼業のうち、自営業の種類別経営体数は農業との兼業が多く、佐賀、熊本、鹿児島で高い割合となっている。〔図16〕

図15 専兼業別漁業経営体数及び割合（全国・九州及び九州各県）（令和5年）

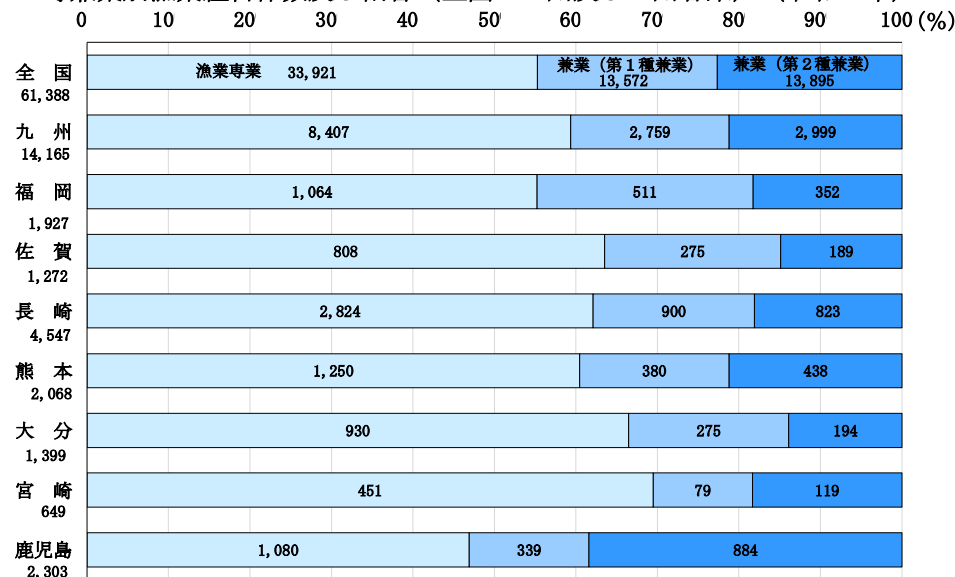
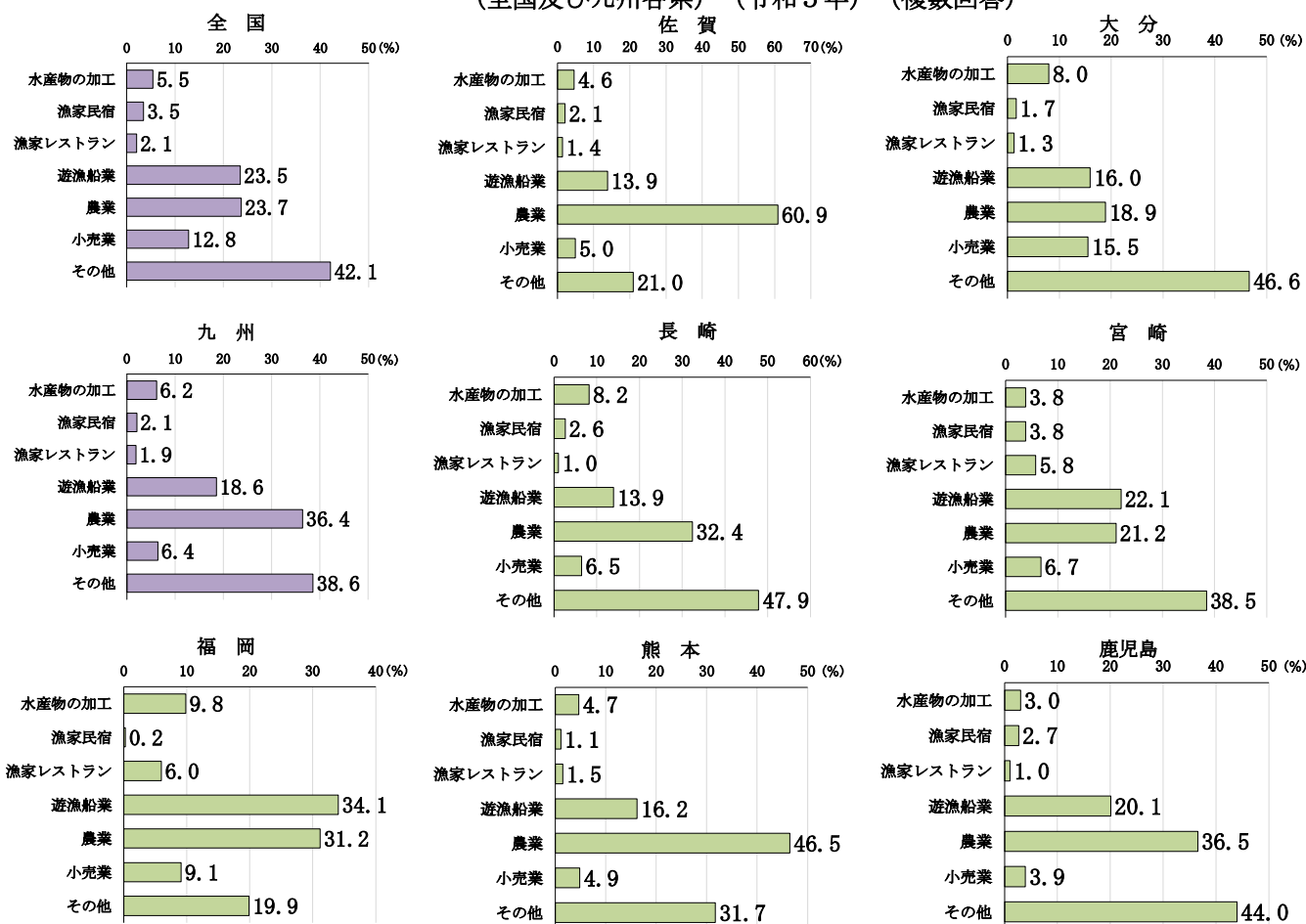


図16 営んだ兼業（自営業、共同経営、雇われ）のうち、自営業の種類別経営体の割合（全国及び九州各県）（令和5年）（複数回答）



注：複数回答のため、割合の合計は100%になりません。

◆ 兼業とは、家族のうちだれかが本業のほかに他の業務を兼業していることで、第1種兼業とは、本業の収入が本業以外の収入を上回っている兼業、第2種兼業とは本業以外の収入が本業の収入を上回っている兼業です。